



日本ジビエサミット
in
鳥取

2015年2月5日(木)～6日(金)

特定非営利活動法人
日本ジビエ振興協議会
Japan Gibier Promotion Council

媒体資料

イベントスペース展示／配布資料への
広告出稿のご案内

日本ジビエサミット in 鳥取 概要



地方創生への道—鳥獣「被害」を「資源」へ

有害捕獲されたシカやイノシシは、平成23年度は45万頭（環境省調査）にのぼり、その多くが資源に活用されることなく廃棄されています。一方で、食肉として活用する動きが広がってきています。

日本ジビエサミットは、産官学連携により、捕獲されたシカやイノシシを新たな資源として、6次産業化やジビエの食文化につながる活動の展示・報告・検討を行い、全国の関係者の取り組みに生かすことを目的として開催します。

主催：特定非営利活動法人日本ジビエ振興協議会

後援（申請予定）：鳥取県・農林水産省・全国農業協同組合連合会、一般社団法人 CSV
開発機構

◆会場：鳥取県鳥取市 とりぎん文化会館
鳥取市尚徳町101-5

◆日時：2015年2月5、6日
（5日＝現地視察、交流会・6日＝セミナー、分科会）



小ホール 500名



シカ肉 イノシシ肉の6次産業化・ジビエ食文化に取り組む仕事人が集合

ジビエを使った6次産業化と、最大の課題である流通に焦点

普段、ジビエを使った6次産業化や加工品の製造に関わるノウハウに接する機会が少ないだけに、日本ジビエサミットの展示と分科会での意見交換が果たす役割は大きい。

シカ肉やイノシシ肉は、流通に対応できる処理・調理・加工技術の手法が見いだせれば、飛躍的に利活用が進む食材です。日本ジビエサミットでは、各地で一番の課題となっている流通に焦点を当てて開催します。



◆ 基調講演: 外食産業への売り込みは不可能ではない

ベッカーズやcoco吉番屋など、一部の外食産業でシカ肉やイノシシ肉が利用されている。今後、捕獲頭数の増加に伴い食肉利用が増えてゆくことと、処理された肉の供給先として外食産業は魅力的な販路です。外食産業の専門家が、どうすれば外食産業に売り込めるか。課題と可能性を提起します。

◆ パネルディスカッション

「農林・観光業の迷惑ものを地方創生の資源に変える」

ジビエ振興の課題であった、鳥獣被害対策から食肉活用の一貫した取り組み・余った肉を使った加工品製造の取り組み・地元の飲食店と連携した取り組み・ジビエの格付けと認証制度の取り組みを紹介しながら、地方を元気にする手法について意見交換を行います。



◆ 分科会

①捕獲個体の食肉利用割合を増やす、②なぜ衛生管理が重要か、③売れない部位を販売の柱に、④どうすれば大手流通に売り込めるか、この4つのテーマで行います。「なぜ衛生管理が重要か」と「売れない部位を販売の柱に」の分科会では、関連機器の紹介と説明を行います。

来場者



ジビエに関する課題解決と地方創生に取り組む、鳥獣被害対策、6次産業化、食肉処理業、飲食業などがメインターゲット

これまで、鳥獣被害対策や6次産業化をテーマにしたイベントは行われていますが、シカ肉やイノシシ肉の活用をメインとしたイベントは日本ジビエサミットが初めてです。シカ肉やイノシシ肉の活用は北海道から鹿児島まで、ほぼ全ての都道府県に共通する課題となっています。また、産官学の連携により地方創生に繋がる大きな可能性を秘めた食材です。

主な来場者

- ◆ 都道府県・市町村のジビエ利活用(鳥獣被害対策)担当職員
- ◆ 都道府県・市町村・農協の6次産業化担当職員
- ◆ 全国の福祉施設の6次産業化担当職員
- ◆ 全国のシカ・イノシシ解体処理加工施設の運営業者及び狩猟者

全国唯一、ジビエ振興に係わる関係者約400名が来場するイベントです。

イベントスペース展示への出展

◆展示料金

1ブース(1.8m×1.8m) 8万円(税別)

※全8ブース

※複数利用可



イベント展示は、とりぎん文化会館正面入り口の「フリースペース」(最大250㎡)で行います。試食会もこの会場で行いますので、**大半の参加者が立ち寄る場所**となっています。

使用できる電源

100V、単相200V

展示場所

展示スペース 250㎡

電源使用の有無等を考慮し、展示場所は主催者が指定します



配布資料への広告出稿

◆料金

	表2(4C)	1,800,000
	表3(4C)	1,500,000
	表4(4C)	2,000,000
中面	1P(4C)	1,200,000
	1P(1C)	
	1/3P(1C)	

表紙イメージ



配布資料には、日本ジビエサミットの講演、パネルディスカッション、分科会の資料を掲載します。ジビエに関する貴重な情報源となりますので、**サミット終了後にジビエに係わる都道府県、市町村、農協などに配布**します。

冊子形態：A4・モノクロ 約50頁

印刷部数：4000部(サミット参加者、自治体、農協など関係機関に配布)

広告枠：表2、表3、表4、記事中(1頁)

料金(税別)：表2：18万円、表3：15万円、表4：20万円、記事中(全頁)：12万円

掲載特典！

広告を掲載いただいた企業には、第2分科会または第3分科会の検討資料として、活用の事例紹介記事を掲載します。

※本媒体資料p.3参照。詳しくは担当営業にお問い合わせください。

申し込みの締め切り

日本ジビエサミットのイベント展示への出展、配布資料への広告掲載の申し込みは、平成26年12月25日(木)までをお願いします。

問い合わせ先

特定非営利活動法人日本ジビエ振興協議会

〒341-0042 埼玉県三郷市谷口677-1

事務局 担当:小谷

電話 048-951-0123

メール kotani@gibier.or.jp

